

津山市学校力向上推進プラン

概要版

子どもたちが生き生きと学び、楽しく遊び友達を作り、自分であることに誇りを持ち、夢と希望を育むことができる「わかる授業、楽しい学校」

学校力向上の3つの重点

生徒指導・不登校支援

人間関係づくり

小学校5年と中学校1年で「Q-U検査(楽しい学校生活を送るためのアンケート)」を実施し、実態把握をもとにした学級経営や人間関係づくりを進め、問題行動の改善と落ち着いて学習できる環境を整えます。

生徒指導・教育相談

学校へのスクールカウンセラーの配置を積極的に進め、子どもたちの悩みを受け止める教育相談体制を整備します。また、スクールソーシャルワーカーによる家庭支援や家庭・地域との連携を推進します。

不登校への対応

「不登校支援指針(仮称)」を策定し、不登校の未然防止に向けた取組を徹底します。さらに、「鶴山塾」「ポロつやま」等と連携した登校支援や専門家派遣によるケース会議とチーム対応等の体制を整えます。

学力向上

標準学力調査による学力実態把握

小学校3年と5年で標準学力調査を実施することにより、子どもたちの学力の状況を客観的に把握し、つまずきの解消や計画的な指導に活かします。

わかる授業

「津山っ子の学びを高める“3つの提案”」に全校で取り組むとともに、授業改善を積極的に進め、情報機器等を有効に活用したわかる授業を実現します。

研究指定・校内研究支援

各校で学校課題に応じた校内研究を行い、教員の専門性の向上と指導力の充実に図ります。また、外部講師の招聘や先進校視察などにより先進的な事例に学びます。

家庭学習と生活リズム

子どもたちの実態把握を行い、家庭やPTA等と協力しながら家庭学習の習慣化と生活リズムの定着を図ります。また、春休みの課題などの取組を推進します。

外国語活動の充実

ALT(外国語指導助手)等のネイティブによる指導など、外国語活動の充実に努めます。

35人学級編制の推進

市独自の学級編制の弾力化により、小学校の40人学級を35人学級とするなど、落ち着いた学習環境を整えます。

特別支援教育

早期からの教育相談

早期からの就学相談・教育相談を実施し、発達に気になる子どもの相談や就学の相談など、保護者への支援体制を整えます。

指導力の向上

特別支援教育コーディネーター研修会各種研修会の開催により、教員の指導力向上を図ります。また、中学校ブロックでの指導のための情報共有に努めます。

個別の教育支援計画

通常学級に在籍している特別な支援が必要な子どもにも、「個別の教育支援計画」をもとにした適切な指導を継続的に進めます。

特別支援教育センター

北小学校に開設した通級指導教室に「特別支援教育センター(仮称)」を設置し、特別支援教育体制の一層の充実に努めます。

自立支援

特別支援に関係する機関による、関係者連絡協議会を開催し、課題改善や体制整備に向けた連携強化を図ります。

3つの提案 6つの取組

津山市小・中学校連携事業

My Town つやま活用事業

学校支援地域本部事業